

喪の仕事 (1991)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 112分

初公開日 1991/03/21

公開情報 アルゴプロジェクト

【解説】

身近なものを失った人間が、嘆き悲しみながらその事実を受け止めていく「喪の仕事」を描いたドラマ。本作がデビュー作となる君塚匠が、自らの経験をもとに脚本・監督した。

美術大学の同級生だった望月が癌で亡くなった。陽介は通夜に参列し、学生時代の友人たちと久々の再会を果たす。望月と最も親しかった陽介に、望月の母は形見分けとして白いキャンバスを手渡した。学生時代の望月が映っているビデオを友人が見つけるが、陽介へのメッセージ部分のみ無音だった。真っ白なキャンバスの裏には「YAYOI」という名前が刻まれており、陽介はその本人である弥生に会う。そして陽介は、望月の後を継いで絵を完成すると、弥生に告げた。

【クレジット】

監督	君塚匠
製作	渡辺敦
プロデューサー	宮坂進 山本文夫
脚本	君塚匠
撮影	丸池納
美術	丸尾知行
編集	今野治人
音楽プロデューサー	日永田広
助監督	蘆田完
出演	永瀬正敏 Masatoshi Nagase 田村翔子 藤井かほり 新井つねひろ 中村嘉葎雄 江波杏子